

令和3年度第2回三島総合病院地域協議会 議事録

開催日時：令和4年2月17日（木） 13：30～14：30

開催場所：三島総合病院 第一会議室

出席者：委員）池田裕介（一般社団法人三島市医師会会長）

水口国康（三島市健康福祉部参事・健康づくり課長・健康政策戦略室長）

志村 肇（三島市谷田押切町内会役員）

病院）野田芳人（三島総合病院長）、平塚世津子（三島総合病院看護部長）

高山卓也（三島総合病院事務長）、高塚聖文（三島総合病院事務長補佐）

【次第】

1. 病院長挨拶
2. 三島総合病院の現況について
3. 三島総合病院への要望事項について
4. その他

1. 病院長挨拶

本日はコロナ禍の中、令和3年度第2回三島総合病院地域協議会にご出席いただきありがとうございます。

この協議会につきましては、当院の現状を知っていただき、健全な病院運営に努めることを目的としておりますので、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

2. 三島総合病院の現況について（病院より説明）

○ 患者数等について

患者数等について、10月・11月は落ち込んだが、1月累計1日平均入院患者数127.6人、病床稼働率70.5%、地域包括ケア病棟50床の稼働率は88.7%、透析センター34床の稼働率は103.3%、本年4月より1名の常勤腎臓内科医が入職予定で、さらに、9月頃に腎臓内科医（女医）が入職予定であるため、透析を週3日2クールで行い、130%の稼働率を目標としています。外来患者数は診療科の外来診療日数や診療枠を増やしたこともあり1日平均外来患者数279.0人、救急搬送人数は526人で、今年度は620人程度となる見込みです。

健康管理センターの健診者数については、昨年はコロナの影響で累計37,000人程であったが、一昨年までの健診者数に戻り1月までで累計38,872人となっております。

老健の入所率は100床で94.1%、通所利用率は定員40名に対し70.6%で1日平均28人前後の利用者数。周産期センターは今年度で閉鎖、分娩は1月で終了し、妊婦健診は2月で終了、4月以降は非常勤医師による婦人科診療、子宮がん・乳がん等の検診と産後ケア事業は継続します。

経常収支は、1月累計で約175,099千円の黒字となっております。

○ 当院での新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

昨年7月から本年1月までに6,844人の個別接種を行い、そのうち6,571人が三島市民の方、当院の医療従事者は2月1日から10日までに3回目の接種が終わり、今週から三島市高齢者を対象としたワクチン接種を開始し、平日の午後から1日108人のワクチン接種を行っています。

入院待機施設への医師派遣については、第6波に備えて静岡県が策定した「保健・医療提供体制確保計画」に基づいて、入院患者が確保病床数を超えて発生した場合に、入院先が決まらない患者が一時待機する宿泊療養施設を県内3箇所に設置、東部ではホテルジャストワン裾野がそれになり、2月27日に前田副院長の派遣を予定しています。当院はコロナ受入れ病院ではありませんが、今年に入り最大5人のコロナ患者の対応をしました。5人のうち透析患者2人が最初で入院加療できる施設で透析を実施しているのが当院だけになるので、落ち着くまで当院で対応しました。他に救急車で搬送された救急患者が入院となり、その患者さんがコロナ陽性、他院への転送先も決まらず当院で対応しました。

院内職員の発生状況は、職員で2人陽性者が発生し1人は家庭内感染、1人は感染経路不明だがクラスターになるまでの発生はしておりません。小さな子供さんを持つ家庭で陽性率が高く、職員で濃厚接触者が発生し業務を休まなくてはならなくなり、ここ2週間は業務負荷になったが、現在は切り抜けています。

○ その他

透析について、医師も増え入院加療できる施設を持ち合併症を併発している透析患者を診れる病院は当院だけとなります。現在も数名実施していますが、月・水・金の週3日2クール透析を行うことで稼働率130%くらいになると計画しています。周産期センターについてはオープン後、分娩件数は少しずつ増えてきましたが昨年からは頭打ち、周産期センターを維持するには人件費等多額の費用がかかり、年間約1億円の赤字を計上。今後の事を総合的に考え、閉鎖して病院本体に力を入れる決断に至りました。周産期センター閉鎖について各方面へアナウンスを行いましたが、特に困ると言う声が聞こえてこない事から、周りへの影響はほぼないと考えています。今後、他では行っていない産後ケア事業については継続する予定です。

周産期センター棟の今後の活用方法については、人間ドック受診者への個室利用サービス、無痛の内視鏡検査後の休憩所、外来眼科手術後の待機室としての利用、外来で実施している抗がん剤治療・化学療法のスペースでの活用等を検討しています。

3. 三島総合病院への要望事項について

外部委員) 人間ドックでのサービスと内視鏡下でのサービスは人間ドックに含まれるのですか。

病 院) 通常、内視鏡は麻酔をかけずに行いますが、希望者には麻酔をかけて行うので、検査後の経過観察として個室を利用させていただきます。

外部委員) 周産期棟は入院用として使用できないのですか。

病 院) 病床としては使用できません。周産期センターの病床は特別病床として18床を頂いているので、3月に返還します。元々あった6床を本館に移しますが、地域包括病棟は50床での運用が決まっており、検討した結果、4月からは病院病床数159床で運用を開始します。

外部委員) 近隣の地域医療連携体制についてはどうでしょうか。

病 院) 静岡医療センターから、当院の地域包括ケア病床への患者受け入れとして、近隣6病院での連携の話が進んでいます。聖マリアンナ医大から赴任された医師と繋がりがあり、地域連携強化の話をいただいています。

外部委員) 以前にも三島総合病院のベッド数を増やすことについて検討したことがあるのですが、患者側としては、地域のベッド数の増床を希望しています。

病 院) 国はベッド数を減らす方向であり、東部地域はベッド数が多いので増床は難しい状況です。静岡がんセンターと順天堂大学病院があり、近隣では沼津市立・静岡医療センターの規模が大きいですが、その他の病院は100床以下の病院が多く、医師数も足りていると考えられています。100床以下の病院でも救急医療の指定を受け、急性期病院の登録がされているので急性期分野の病床数も足りていることになっています。

外部委員) 国の決める地域医療構想なので、現場で色々意見してもなかなかその通りにはならないのが現状です。静岡市・浜松市も地域によっては医療過疎になっている場所があります。

病 院) 当院の一番の問題は医師確保であり、静岡県にも色々お願いし、4月より赴任する腎臓内科医師は静岡県からの奨学金制度を利用し、後期研修が修了した医師です。透析は5年程非常勤医師だけで行ってきましたが、当時の透析センター稼働率は85%程で、現在は100%を超え、入院加療して透析が行える施設は三島総合病院だけなので、今後もしっかり稼働できるよう体制を整えたいと思っています。

外部委員) コロナの特効薬ラゲブリオの粒は大きくて、高齢者では飲めないようです。コロナ受入輪番制を決めましたが、東部保健所のキャパは超えていて、現状搬送先を決めるのが困難なようです。高齢者施設で感染者が発生したら、病院搬送は難しく、高齢者施設で対応してもらっています。三島市の開業医でも在宅療養の協力医療機関として数施設が登録しています。オミクロン株に感染したら入院させ、濃厚接触者はホテルで待機と決めましたが感染者数も多く、現状では保健所でコントロールできていない状況です。

外部委員) 自宅にいるコロナ感染患者はどのようにするのですか。

外部委員) 重症者は入院、軽症者はスマホでの診療対応、薬は薬局が配達する仕組みとなっています。

外部委員) 軽症者が多く、発熱しても1日2日で解熱し、薬を使わず9割くらいは回復しています。基礎疾患のある患者さんは、50歳代くらいでも肺炎がひどくなり、2週間でも完治しない患者さんもいます。近隣診療所でも陽性者が多く出ており、高齢者施設でもクラスターが発生しています。病院職員が外で感染し、院内に持ち込み感染を広げ、病院機能が維持できなくなっている施設もあります。

病 院) 当院と同じグループの病院で大きなクラスターが発生、病院機能が麻痺しています。医師・看護師が不足し、グループ内各病院から応援を行っていますが、どうしようもない状況のようです。今月を乗り切れば何とかかなると思われれます。コロナは今後、インフルエンザと同様の対応で良いのかと考えています。インフルエンザ流行時には今以上の死者が発生しています。コロナ感染に関しても薬が一般に出回り、時間が経過すれば感染症類型区分も変更になり沈静化するのではないかなと思われれます。

外部委員) コロナワクチン接種について、3回目で終了してくれれば良いが、その後も5歳から11歳、それ以下の方の接種もありそうなので、引き続きご協力いただきたい。また、特定健診後の特定保健指導を30人程お願いしているので、こちらも引き続きお願いしたい。

病 院) 保健指導期間が半年以上と長いので、継続的なフォローをしないとならない。指導期間が短くなれば、ハードルがやや下がるかなと思われれます。

外部委員) 小児のワクチン接種は、三島市内の小児科医会の開業医が中心となり個別接種を行い、そこでこぼれてしまう方は小児科医師で集団接種を行う予定になっています。3月中旬から実施予定です。

また今後、三島共立病院が内科を中心に市内の二次救急を受けてくれる予定です。

病 院) 貴重なご意見、ありがとうございます。改善が必要な事項は現場に指示いたします。ご指摘ありがとうございます。

4. その他

特になし。

次回は令和4年10月20日(木)を予定。